

8/9(日)

「夏休み子ども企画! 名栗川を歩こう」

名栗川の水生生物を観察しながら川を散歩します。

集合/飯能市郷土館玄関前 午前9時30分

要申し込み/てんたの会(042-974-1691 浅野)

持ち物/弁当、飲み物、帽子、着替え、

川を歩ける服装(運動靴で)

参加費/大人・子ども共300円



雨天または増水時中止

9/13(日)

「秋の野草観察会」

初秋の天覧山周辺で、野草の可憐な花々を観察しながらのたのしい散歩です。

集合/能仁寺山門前 午前9時30分 解散13時頃

要申し込み/てんたの会(042-974-1691 浅野)

持ち物/弁当、飲み物、帽子、筆記用具、

山道を歩ける服装

参加費/大人300円(子ども100円)



雨天中止

10/18(日)

第4回「里山バザール」

午前11時~午後3時(雨天中止)

「ほとけどじょうの里」で今年も「里山バザール」を開催します。詳細は内面の別記を参照してください。



11/22(日)(予備11/23)

天覧山谷津の里づくりプロジェクト*

「里山復活祭」昼食付き

天覧山下の「ほたるの里」で谷津田の保全作業を行います。谷津田で出来たごはんで昼食!

集合/市民会館北側中央公園トイレ付近

午前9時

要申し込み/042-973-2125 はんのう市民

環境会議事務局(市役所環境緑水課)

持ち物/軍手・タオル・飲み物

主催/はんのう市民環境会議

協力/てんたの会

参加費無料



ふる里散歩

天覧山周辺の自然に親しめるふる里散歩へどうぞふるってご参加ください。

【*を除く各回共通 共催/はんのう景観トラスト、(公財)埼玉県生態系保護協会飯能名栗支部 8月、9月、1月は、はんのう市民環境会議も共催】

12/13(日)

「里山のリース作りエコツアー」

大好評企画「里山のリース作り」里山の

恵みを分けてもらって、世界にたった一つのリースを作ります。午前中は山歩き、昼食後リースを作りますが、雨天の場合は午前中よりリース作りとなります。

集合/郷土館玄関前 午前9時半

要申し込み/先着15名 てんたの会(042-974-1691 浅野)

持ち物/飲み物・お弁当・山道を歩ける服装

参加費/1500円



参加費無料

雨天中止

1/1(金・祝)

「初日に祈る山歩き」

異常気象や災害が続き、自然の底知れなさを痛感します。新しい年の平安を願い山を歩きましょう。

集合/能仁寺山門前 午前6時15分

要申し込み/てんたの会(042-974-1691 浅野)

持ち物/飲み物・山道を歩ける服装

ご案内 東谷津ほとけどじょうの里 作業と石窯

第2、第4日曜日 10時~15時

東谷津ほとけどじょうの里では、基本的に月2回

(第2・第4日曜日 10時~15時……作業日は変更する場合があります。参加される方は事前にご連絡ください。)現地集まり、保全作業や

石窯でのパン作りなどを行っています。作業は、トラスト地の整備、薪作りなどです。

またみんなで手作りした大きな石窯で、パンやピザや焼き芋を焼いています。ぜひ、お気軽にご参加ください!(問合せ: 早瀬 042-977-1890)



やませみ 71

発行日/2015年8月1日

編集・発行/NPO法人

コンボウハナチ科の幼虫

天覧山・多峯主山の自然を守る会

事務局/TEL042-974-1691(浅野正敏)

埼玉県飯能市柳町18-17

イラスト・構成/石岡真由海

1995年、巨大住宅団地開発の計画がきっかけで発足した「NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会」は、この地の自然をいつまでもという思いで、様々な活動を続けています。どうぞあなたも会員になって活動を支援してください。

*年会費 ●正会員……普通会員 2,000円

特別会員 10,000円

●賛助会員………1口10,000円

*会費・カンパ送り先…郵便振替口座 00580-9-16342

「NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会」

イチモンジチョウ



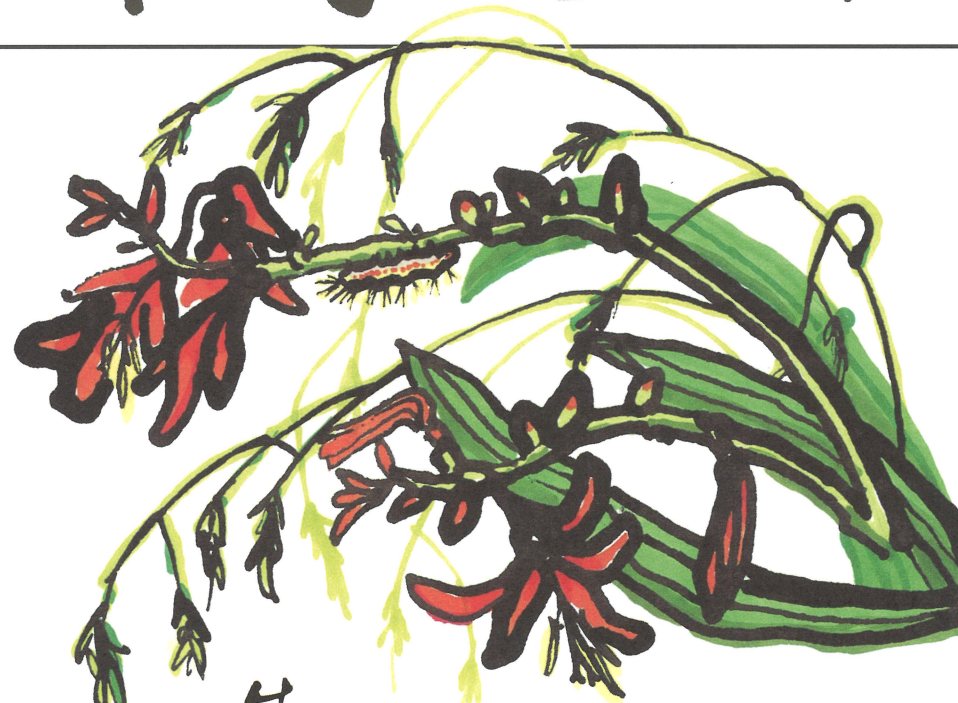
募集中!



NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会 会報

No.71
2015.8.1

やませみ



毛虫の毛
風が揺らし
おれた花は
次の花を見届け
葉は緑の中の
細胞ひとつが
ひとつが
生きていようと叫ぶ
世界は生きることで
濃くより深く。
誰だ?

もくじ

- 「てんたの会の総会」を終えて
- モニタリング1000里地調査 報告
- 環境フェスタ2015
- 私の自然観察ノート 虫の世界へ
- 第4回てんた里山バザール開催
- ふる里散歩
- 東谷津ほとけどじょうの里 ご案内

http://www.tenranzan.com/ 〓tenta@tenranzan.com

●「やませみ」へのご意見を下記アドレスへお寄せください。投稿もお待ちしています。

●今年度「てんたの会の総会を終えて」

新たなトラスト保全地の取得も目指して

「(ナショナル)トラスト」とはイギリス発祥の歴史景観・自然保護運動です。歴史的建築物や自然景観が破壊されそうになった際、多くの市民から寄付を募って土地や建物を買収保存しているThe National Trustという市民団体があり、日本では1960年代から一部で知られるようになり、「トラスト」は日本では寄付を集めて緑地等を買収保全する運動というように主に解されています。

東谷津トラスト地(ほとけどじょうの里)は、住宅団地開発を牽制するため借りて米づくりなどをしていましたが、所有者の意向もあって寄付金を募り2009年に買い取りました。また、てんたの会が土地を所有できるようにするため、NPO法人になりました。

これをきっかけとして、トラスト地を市民が里山に親しむための拠点にしようという方向が出て、石窯を設置したり、里山バザールを開催するなど、会の活動の幅を広げることになりました。

しかし、今の敷地は元々は田んぼだったため利用に制限もあります。西隣の元畑の土地は西武鉄道の所有で、一部をてんたの会が管理整備を行っているところでもあり、ここは高台で自由に使えたら活動の範囲が広がってきます。そんなことから、西武鉄道と買収の可能性について話し合

いを始め、さらに補助金をもらえる見込みも出てきたため、今年度の事業計画に第2トラストの準備が入りました。

では、トラスト地を拡張して何にしようというのでしょうか。これまでプレイパーク(子どもが自由に遊べる公園)、森の幼稚園、草原性昆虫等のための草原確保、畑に戻す、ツリーハウスをつくるなどの案が出ています。6月14日の総会後の意見交換会では、スタッフの高齢化を考えるといたずらに区域を広げていいのかとの疑問も出されました。それに対して、ヤギを飼って草刈りをさせる、管理はできる範囲でやればよいなどの意見も出ています。

いずれにしても、トラスト地の当初の目的である天覧山の自然を守る拠点とすること、ここが市条例の景観緑地に指定されているため緑地を維持することが必要と思います。

また、会員全員にアンケートを行い、購入すべきか否か、その活用方法などを聞くべきとの意見もありました。より多くの意見を聞いて、多くの市民の方々が里山に親しみ、将来にわたって天覧山の自然を守ろうという意識を高めることにつながるような保全整備を進めていくことが求められます。

会員 大石 章

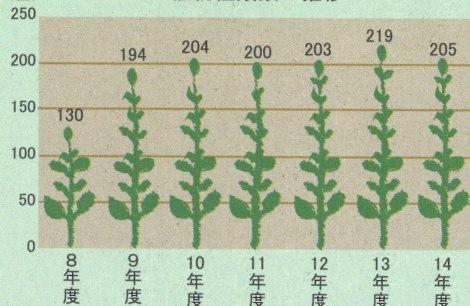
モニタリング1000里地調査 新たに哺乳類も！

環境省モニタリング1000調査は、自然環境の長期的推移を全国1000か所で百年間調査するもので、天覧山では気候や里山再生等の自然への影響を把握するため、2008年秋から里地調査を開始し、植物、鳥、カヤネズミ、カエル、チョウ、ホタルの6種類の調査を行っています。今年で8年目に突入しました。

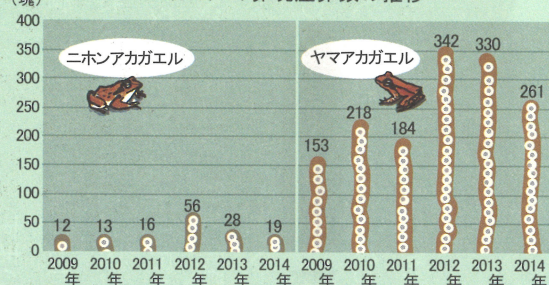
毎年2月に、1年間の調査結果報告会を行っています。2014年は、植物は大きな変化はない一方、チョウ、カエル、鳥、ヘイケボタルなどは落ち込みが見られましたが、動物は変化が大きいことはよくあり、原因は分かりません。

今回は、こうした結果も踏まえて、里山整備のあり方について意見交換しました。景観、安全、動植物の保護などの何を優先して進める

(種) 植物種類数の推移



(塊) カエルの卵塊産卵数の推移



ホンドキツネ

のか、どのように整備方法を決めるのかなど、熱い議論が交わされました。共通認識を築くには至りません

でしたが、こうした話し合いは継続していくことが重要かと思いました。

このほど、新たに哺乳類調査を行うことが決まったと連絡がありました。調査主担当者は岡登伸一さんになります。ほとんどの哺乳類は夜行性のため、獣道にセンサー付き自動カメラを設置して撮影します。以前に試験的に設置した際は、キツネとタヌキが写っていました。夜行性で実態が見えにくい哺乳類の状況が分かれば、天覧山の自然の状況がより分かってくと期待されています。

なお、調査への協力者を募集しています。てんたHPをご覧ください
か、下記へご連絡ください。

会員 大石 章

連絡先： ezh01701@nifty.com 大石

はんのう市民環境会議 環境フェスタ2015

6月7日「はんのう市民環境会議」設立以来、初めて「環境フェスタ2015」が開催されました。

市民会館大ホールでは各団体の舞台発表、ホワイエでははんのう市民環境会議や企業・団体など環境への取組みの展示紹介、お楽しみコーナーなどのプログラムが組まれました。その中の「谷津田へ行こう！おいしいお散歩ツアー」の案内を浅見賢治さんと私が担当しました。

市民会館から能仁寺山門前、天覧入り谷津を経由して東谷津に向かうコースです。参加者は大人10人と子供8人、ツアーの「ねらい」を「自然への親しみ」とし、「森林の恩恵」と「谷津田再生の理由」を要点としました。

沿道では、カラムシの葉を手に載せ、これを叩いて「ポン！」と音を出す遊びに大人も子供も沸きました。また、わざわざ残っていたオオキンケイギクが特定外来種であることに「こんないきれいな花が」と驚きの声があがりました。

谷津田ではシカ被害を受けた無残な姿のイネに顔をしかめてい

ました。森では「森の効用」について谷田貝光克著作の「森林の不思議」の一部を紹介しました。

生き物と違い、動けない植物は、わが身を守るために生産する各種の精気は、抗菌力や防腐の機能があること、この機能を薬用としていること、また、花粉をまいて欲しい虫には誘引作用のある精油を出すこと、これらが森林に放出され「森林のにおい」として気持ちよく感じさせ、ストレス解消にも効果のあることなどを紹介しました。

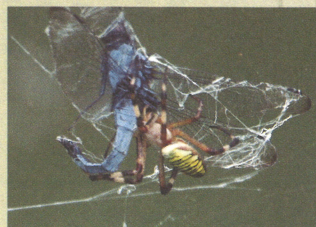
谷津田再生は日本経済の発展とともに増えた農山村の埋め立てや工場誘致による里地里山の減少、農山村の人手不足による里地里山の荒廃と希少種の集中している現状を憂い、国として自然再生推進法を制定したこと、これを受けはんのう市民環境会議が発足し、谷津田再生作業をしていることを紹介しました。

子供達にはやや退屈なツアーになった感もありますが、東谷津の美味しいピザがこれを解消してくれたようです。

会員 高沖義則



ヤツデキジラミはアリに甘露を与え、アリはヤツデキジラミを外敵から守り共生する。



巣網にかかったオオシオカラトンボ、ナガコガネグモは布のような特殊な糸でぐるんで動きを封じ保存食とする。



筐につくアブラムシの甘露を吸うゴイシシジミ、このチョウは花の蜜は吸わない変わり者



この花は奥にある蜜で虫を誘い、花粉を運んでもらう仕掛けだが、クマバチは横から穴を開けて盗み取る。



積み上げられた薪に産卵管を差し込み産卵を始めたヨツツジハナカミキリ。

●私の自然観察ノート

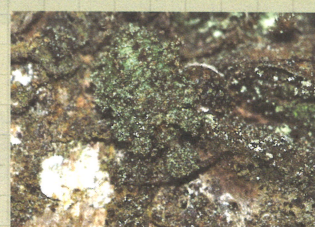
虫の世界へ

暇さえあれば、天・多の森(天覧山・多峯主山をとりまく野山)へ出かけている。ここが私の自然観察のフィールドなのだ。初めは大部分が開発予定地だった当地の、野草の花を記録しておこうと、花の写真を撮っていたのだが、そこにはいつも虫の姿があった。その虫達を見ていると、花粉や蜜を食べているものだけではなく、交尾しているもの、獲物を捕らえているもの、さらには獲物を待ち伏せているものなど虫の世界が広がっているのに気付かされた。この感覚は初めてのものではない気がした。そうだ幼少の頃、竹の先に針金の輪をつけて、クモの巣糸を何重にも絡めとって捕虫網を手作りし、虫を捕えていじりまわす、強く振った網にたたかれて砕けたトンボの胸の筋肉の大きさに驚いたりしたあの感覚だ。時にはセミの幼虫を捕まえて来て羽化する瞬間を見逃すまいと、眠い目をこすりながら見つめていた、死んだ事もないのに死んだふりしてまた生き返る不思議に目をまるくした、忘れていたその感覚が50余年も経てよみがえったのだろう。気付くと網はデジタルカメラに変わってはいるが、私の観察ノートは虫の世界に分け入った記録に変わっていった。

山道や草地をぶらぶらと歩きながら、虫が見つかる立ち止まり、そっと近寄り虫の目線に合わせて跪いたり背伸びしたり、時には寝そべったりと、ありとあらゆるポーズを駆使して彼等に気付かれないようその行動を観察する。そこは不思議な世界への入り口だ。求愛、交尾、産卵、孵化や羽化、育児等の生活習慣、捕食者から逃れるための擬態や警告、共に助け合う共生や相手の体に乗取る寄生などなどだ。また、これらに出会うために積極的に近付く事もある。食草となる草木を探し出し、食痕のまわりを丹念に探す。草木の花や樹液の出る木を見つけておき、そこに集まる虫を見る事も...それらはいつも深い驚きの世界につながっている。

これらの記録はレポートとしてシリーズ化し、てんたの会のホームページの東谷津ページに連載中だ。2008年から初めて200回目前、ますます昆虫類のマニアックな姿に変貌している。面白いぞ虫の世界。

(会員 MY)



苔を自分の体に付けて大顎を大きく広げて獲物が通りかかるのを待つコマダラウスバカゲロウ幼虫。写真真ん中に大きく映っているがわかるかな。



すでに交尾を終え精子を体内に蓄えた雌は脚を上げて他の雄を拒絶するオオモンククロクマバチ。



クマバチを捕えたカマキリ、カマでしっかりと捕まえてどこからでもかぶりつく。



トンボの交尾はなぜハート型。雄は雌を捕えると、そのまま尾端を腹につけ生殖器から副性器に精子を移す。雌は尾端の生殖器を雄の副性器に当てて受精するためだ。モノサシトンボ

第4回「てんた里山バザール」開催!!

日時 10月18日(日) 午前11時～午後3時 雨天中止
会場 天覧山東谷津「ほとけどじょうの里」
(アトム像のある公園を通り、天覧山登山口から右手に折れて山道を直進200m)
主催 NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会(てんたの会)

出店者を大募集!!!

出店料無料

食べ物や雑貨、野菜等々、何でもOK。あなたの小さなお店を開きませんか。申込み: 詳細や出店希望の方は、下記へご連絡ください。042-977-1890(早瀬)

秋の一日、石窯の周りで開く「小さな森の市」を楽しみませんか! てんたの会でも石窯で焼いたパンやピザを販売します。

今年も谷津田で「里山バザール」を開催します。ぜひふらりと「里山バザール」を訪ねてみてください!

